

ちよつと楽しいお知らせ II

中司愛子 (植田)

★寒い朝、花屋さんの店先で、もう春を告げる花々がいつぱいでした。安い菜の花を買って二、三日花瓶に挿して早春の気配を楽しん

だ後、ゆでて「菜めし」にしたたりお汁の中にちよつと浮かせたりしてみてください。「もうすぐ春ね」と言いたくなります。

★乾いた空気、冷たい日々にも荒れます。洗面器のお湯の中へ少し油性クリームを溶かして手を漬けます。しばらく漬けた後、乾いたタオルでよくふいておきましょう。ベタベタせずしなやかになります。

★みかんを二つに切りレモン搾り器でぎゅつと搾り、熱湯を注ぎお砂糖を入れます。それだけで寒い夜、温かいホットオレンジジュ

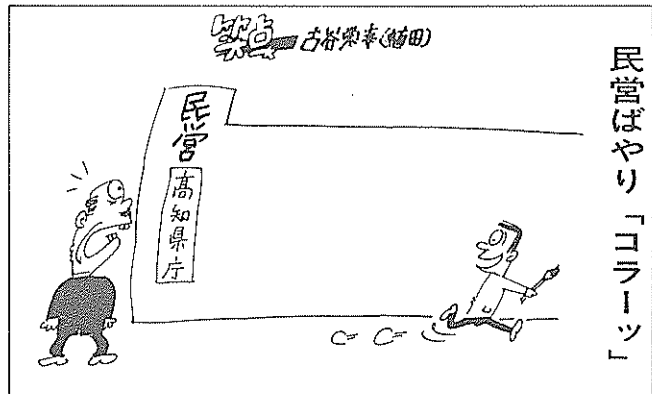


スになります。大人の方は、少しブランドーを入れると楽しい飲み物になります。缶のジュースを買わないでもいいのです。(カップ

静岡からここへ住むようになって2年になります。静岡からここへ住むようになって2年になります。

○お便りから
今月(2月1日)は特に「惚けたおばあちゃん」を考えさせられました。将来医者を目指している自分ですが、患者の側からの苦しみなどがわかってよかったです。これからも良い文をどんどん載せて自分を楽しませてください。

岡豊町・小沢浩



南国歌壇

九年間走りつづけて名人位

受賞の我は齢八十

大埔 田所芳恵

帰省せし友と会う日の短さを

惜しみつつ共に芝居見にゆく

後免町 刈谷益子

王朝の歌人の日記憶びつつ

国術の跡に友と行む

岡豊町 葛目治子

佳事おほく来たる日々なれ願はくば 弥生三月そののちもまた

十市 山本憲彰

木々の芽も脹らみてあむ昨夜よりの 激しき雨は土にしみる

西島 門田美枝子

母のある友を羨む年になり

立田 北村幸江

鬼も逃げ手がけし庭の薔薇帯む

十市 武市日出志

毎日のチラシが生きた趣味の籠

古市 島田稔子

ばれたなら申告漏れにする心算

植田 吉本其梅

もて除す暇念入りに松手入れ 微の花けつりて鏡開きとす

去年今年わかつてひびく除夜の鐘

初夢やハガキの山を登りつめ

ガラス戸に衣づくろいして年始かな

牡蠣鍋に実年夫婦の顔ゆるむ

梅園し歩くに遠き道をきて

妻に腕組まれゆく坂春近し

山は雪微熱こもりし髪切らむ

香川きみ子 (おがたま会)

中橋 淑 ()

清水弥生 ()

鍋島幸夫 (福生葉月会)

浜田美知 ()

沢本吉子 ()

濱淵忠男 (岩村句会)

島崎洗一 ()

北岡高子 ()

南国柳壇

南国俳壇